

大阪大学における耐震化の状況について



平成27年9月

大阪大学における耐震化の状況について

学校施設については、官庁施設の総合耐震計画基準[国土交通省]の規定に基づき、**Is値0.7以上**を確保することとしている。

第3次国立大学法人等施設整備5か年計画（平成23年度～27年度）[文部科学省]にて、建物の耐震化については本計画期間内で完了させることとしている。

Is値（構造耐震指標）

建物の構造的な耐震性能を評価する指標。Is値が大きいほど耐震性が高い。

S56年以前の建物

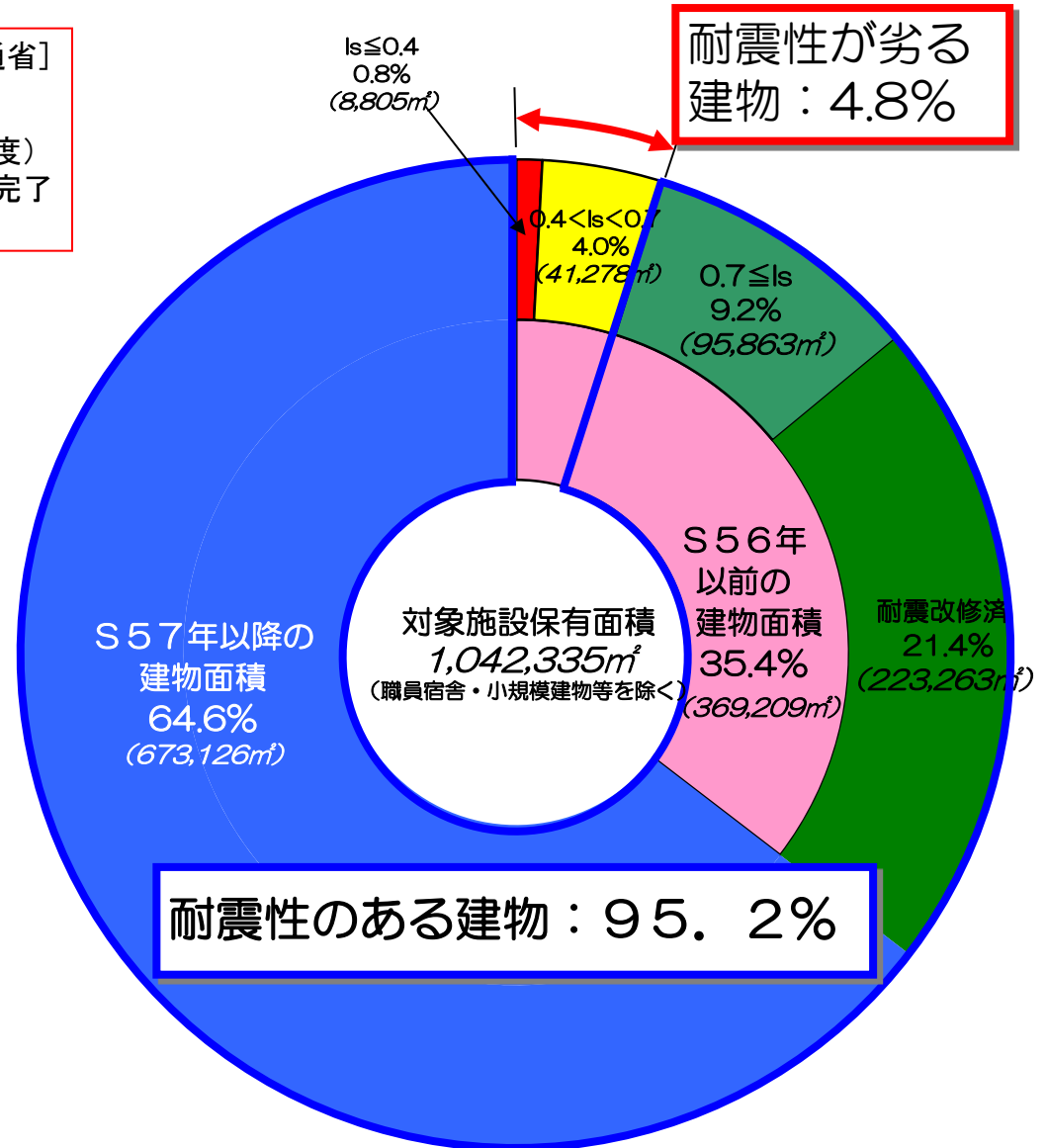
新耐震設計法（昭和56年施行）前の基準による建物であり、3階以上かつ1,000㎡以上の学校施設については耐震診断を実施し、必要に応じて耐震補強を行う必要がある。

S57年以降の建物

新耐震設計法（昭和56年施行）による建物であり、耐震性が確保されている。

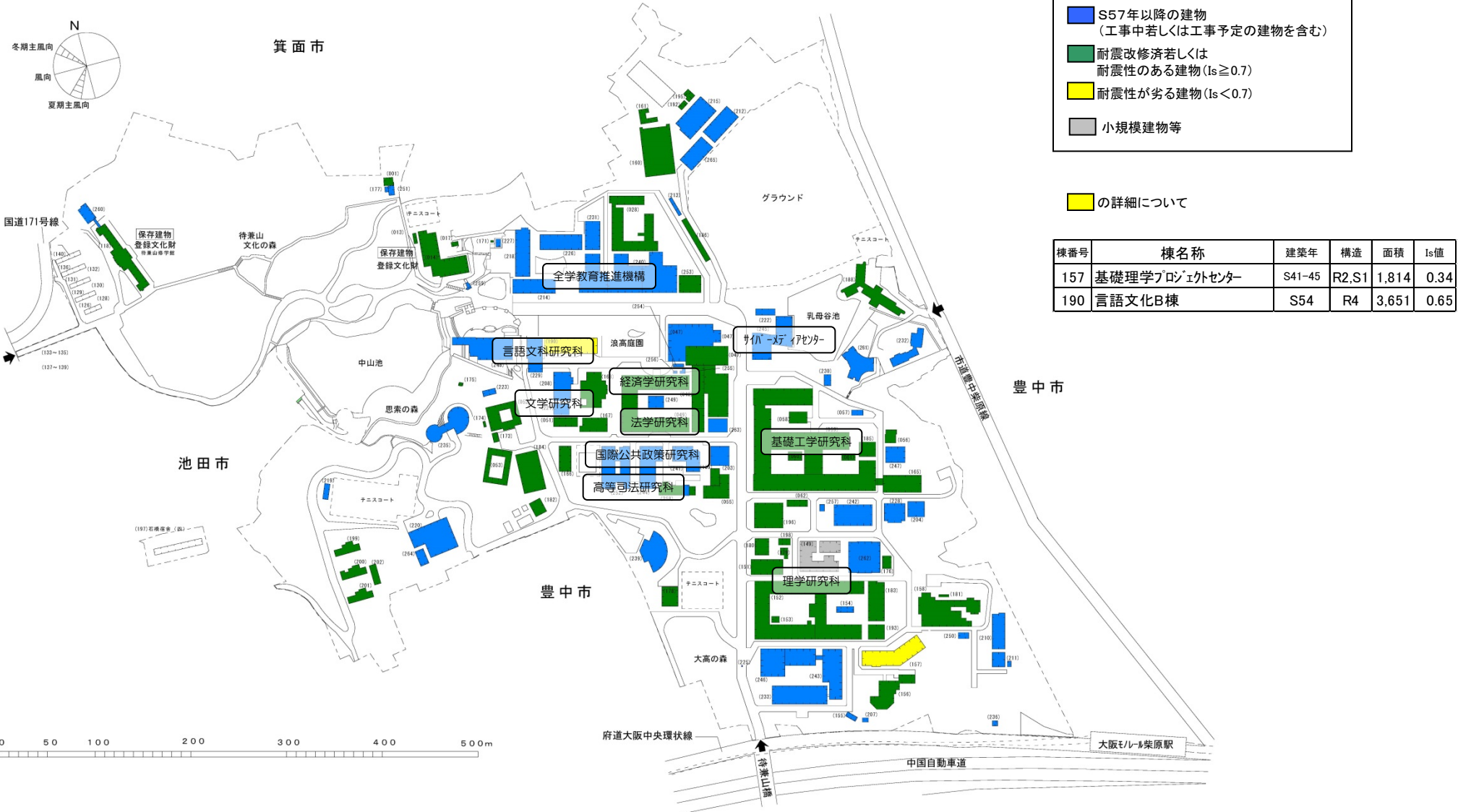
小規模建物等

倉庫・車庫等の小規模建物及び取り壊し予定建物。



※国立大学法人等施設実態報告（平成27年5月1日現在）より作成

豊中団地 耐震化状況図

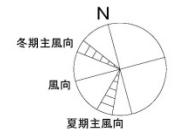


凡例

- S57年以降の建物
(工事中若しくは工事予定の建物を含む)
- 耐震改修若しくは耐震性のある建物 ($I_s \geq 0.7$)
- 耐震性が劣る建物 ($I_s < 0.7$)
- 小規模建物等

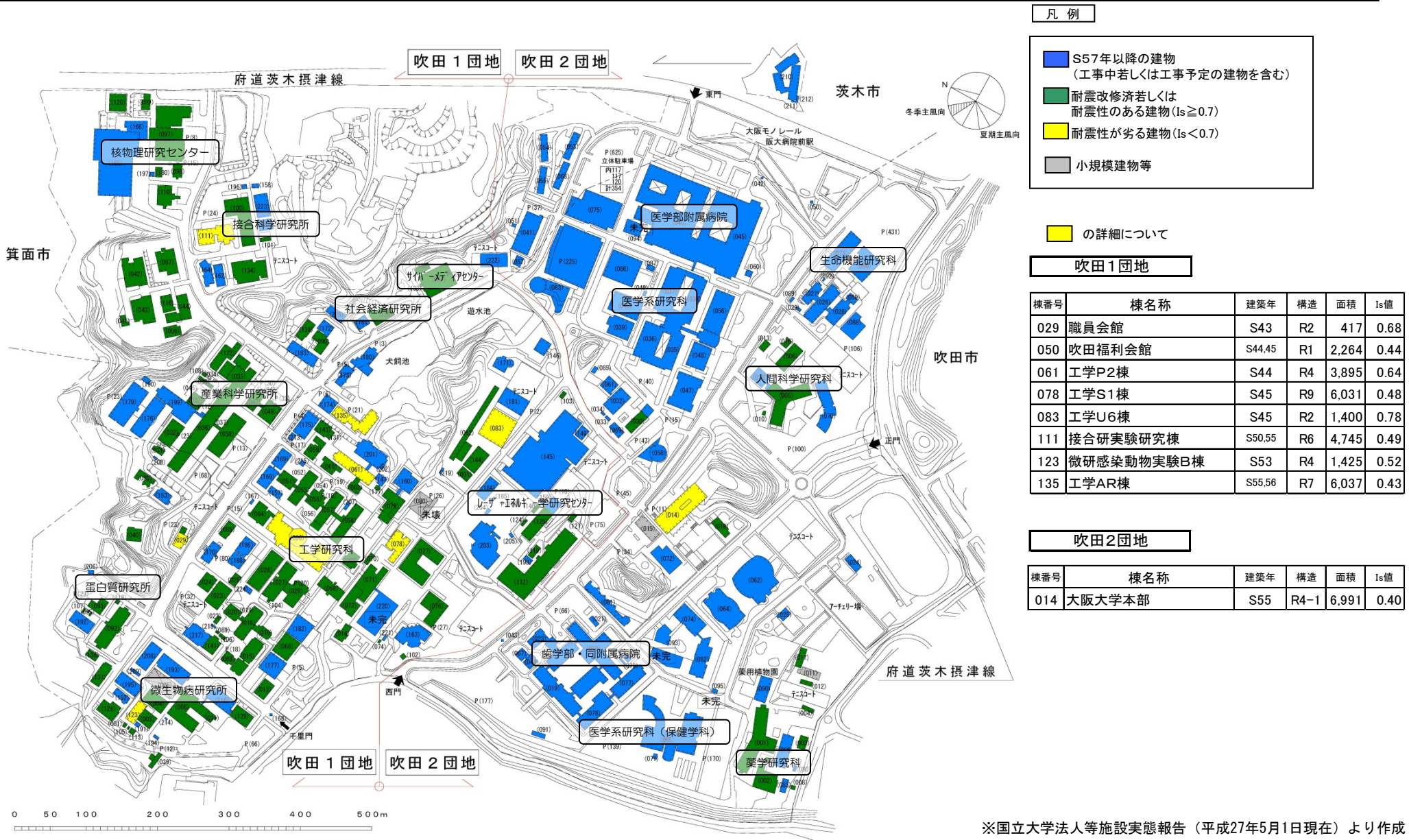
■ の詳細について

棟番号	棟名称	建築年	構造	面積	I_s 値
157	基礎理学プロジェクトセンター	S41-45	R2,S1	1,814	0.34
190	言語文化B棟	S54	R4	3,651	0.65



※国立大学法人等施設実態報告（平成27年5月1日現在）より作成

吹田1・2団地 耐震化状況図



凡例

- S57年以降の建物
(工事中若しくは工事予定の建物を含む)
- 耐震改修済若しくは
耐震性のある建物 ($I_s \geq 0.7$)
- 耐震性が劣る建物 ($I_s < 0.7$)
- 小規模建物等

■ の詳細について

吹田1団地

棟番号	棟名称	建築年	構造	面積	I_s 値
029	職員会館	S43	R2	417	0.68
050	吹田福利会館	S44.45	R1	2,264	0.44
061	工学P2棟	S44	R4	3,895	0.64
078	工学S1棟	S45	R9	6,031	0.48
083	工学U6棟	S45	R2	1,400	0.78
111	接合研実験研究棟	S50.55	R6	4,745	0.49
123	微研感染動物実験B棟	S53	R4	1,425	0.52
135	工学AR棟	S55.56	R7	6,037	0.43

吹田2団地

棟番号	棟名称	建築年	構造	面積	I_s 値
014	大阪大学本部	S55	R4-1	6,991	0.40

※国立大学法人等施設実態報告（平成27年5月1日現在）より作成

箕面団地 耐震化状況図

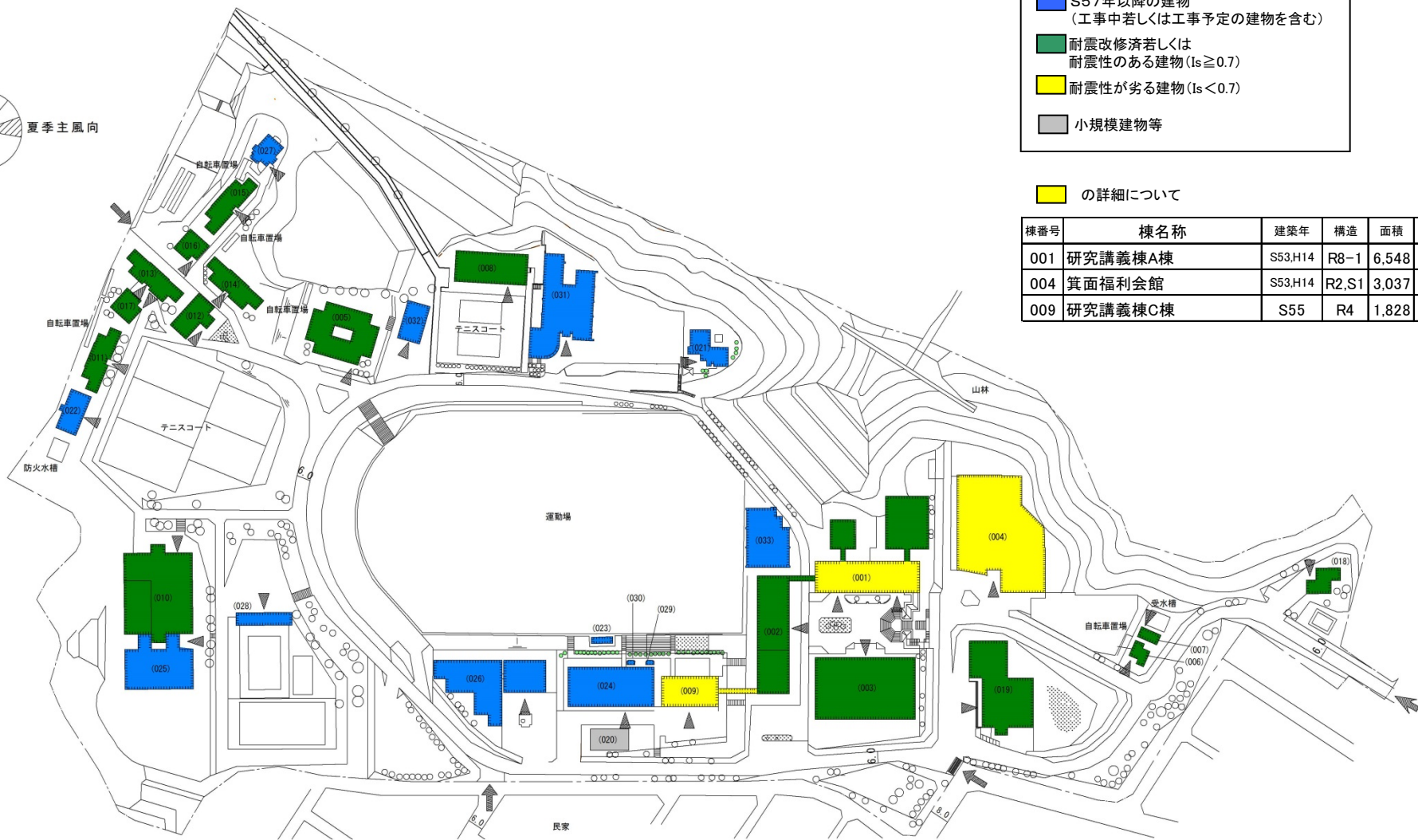


凡例

- S57年以降の建物
(工事中若しくは工事予定の建物を含む)
- 耐震改修若しくは耐震性のある建物 ($I_s \geq 0.7$)
- 耐震性が劣る建物 ($I_s < 0.7$)
- 小規模建物等

黄色の詳細について

棟番号	棟名称	建築年	構造	面積	I_s 値
001	研究講義棟A棟	S53.H14	R8-1	6,548	0.66
004	箕面福利会館	S53.H14	R2.S1	3,037	0.66
009	研究講義棟C棟	S55	R4	1,828	0.56



※国立大学法人等施設実態報告（平成27年5月1日現在）により作成